○ おまえたち、くっちゃうぞ~! ゎにがめのアルとちいさなさかなたち



ワニガメのアルは、池の底で黛がくるのをまっています。口を大きくあけ、ミミズのような苦をゆらゆら。口の中におびきよせられた魚たちが言いました。「わあ、おいしそうなミミズ!ベティばあちゃんにさいしょにたべてもらおうよ」

今日は魚のベティばあちゃんのたんじょうびなのです。魚たちをたべるつもりだったワニガメのアルは、思わず舌をかくしました。

おはなしのあとには、ワニガメがどんな生き物なのか書いてあります。

高槻市立中央図書館 ちゅうちゅうニュース 令和7年4・5・6月号 <低学年向け>

o オトシブミのふむふむくん



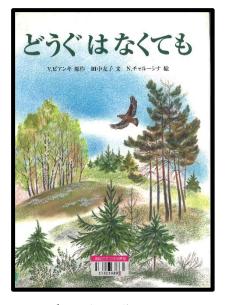
オトシブミのふむふむは、手紙をかくのが大すきです。お花見大会の日、ゆうびんやさんのハンミョウにさそわれて、手紙のすきなオトシブミのふみふみと文通をはじめました。

気球にのって星を見たり、雪あそびに、防災くんれんやたこあげ。手紙にかくことはたくさんあります。

むたちが季節をたのしむ様子が、こまかく描かれています。どこにふむふむとふみふみがいるか探してみてね。



どうぐはなくても



人は家をたてるときにいろいろな道 真をつかいます。 鳥はどうやって自分 の家(す)を作るのでしょうか。

鳥は、道具がなくてもじょうずに家 を作ることができます。くちばしやあし でかれえだをくんだり、どろをねりつけ たり、木のみきにあなをほったり、鳥 のしゅるいによって作りかたもざいりょ うもさまざまです。

いろいろな鳥の家をみてみましょう。鳥が家を作るようすが、色あざやかにいきいきとえがかれています。

高槻市立中央図書館 ちゅうちゅうニュース 令和7年4・5・6月号 <低学年向け>

◐ いたずらこやぎと春まつり



松居 スーザン/作 山久根 脊/絵 佼成出版社[913マツ]

寝い刻がおわり、いたずらこやぎのハイジとペーターは、はじめての春をむかえます。にひきは、春になると前にくる手向しオルガンにきょうみをもちます。大すきなおばあさんと、お気だちのトロルと町の春まつりに出かけたにひきですが、大さわぎをひきおこし、たいへんなことになってしまいます。

このおはなしは、『にひきのいたずらこやぎ』シリーズの3作首です。それまでのおはなしが気になる人はよんでみてください。